

みずほCustomer Desk Report 2022/06/22 号 (As of 2022/06/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	135.22 AUD/USD
TKY 9:00AM	135.11	1.0518	142.06	1.2253	0.6968
SYD-NY High	136.71	1.0582	143.95	1.2324	0.6993
SYD-NY Low	134.94	1.0509	141.99	1.2243	0.6935
NY 5:00 PM	136.69	1.0535	143.95	1.2279	0.6974

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,530.25	641.47	日本2年債	▲0.0700%	▲0.0100%
NASDAQ	11,069.30	270.95	日本10年債	0.2300%	0.0000%
S&P	3,764.79	89.95	米国2年債	3.1921%	0.0241%
日経平均	26,246.31	475.09	米国5年債	3.3642%	0.0223%
TOPIX	1,856.20	37.26	米国10年債	3.2778%	0.0484%
シカゴ日経先物	26,500.00	505.00	独10年債	1.7590%	0.0230%
ロンドンFT	7,152.05	30.24	英10年債	2.6460%	0.0470%
DAX	13,292.40	26.80	豪10年債	4.0860%	0.0340%
ハンセン指数	21,559.59	395.68	USDJPY 1M Vol	13.53%	0.76%
上海総合	3,306.72	▲ 8.71	USDJPY 3M Vol	12.46%	0.32%
NY金	1,838.80	▲ 1.80	USDJPY 6M Vol	11.95%	0.37%
WTI	109.52	1.53	USDJPY 1M 25RR	▲0.90%	Yen Call Over
CRB指数	309.00	▲ 0.07	EURJPY 3M Vol	12.90%	0.12%
ドルインデックス	104.44	▲ 0.27	EURJPY 6M Vol	12.42%	0.10%

東京	東京時間のドル円は135.11レベルでオープン。前日米国休日だったこともあり特段材料がない中、135円ちょうど付近を中心に狭い値幅での推移となり、オープンと同程度の水準で海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、135.06レベルでオープン。欧州株は堅調でセンチメントが改善する中で円安が進行。実に約24年ぶりとなる136.25まで上昇し136.23レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	前日は米国休みにつきでドル円は比較的狭いレンジでの推移が続いたが、連休明けのNY勢が参加する時間になると先週の日銀金融政策決定会合で金融政策の変更がなく、黒田総裁の姿勢も変わらなかったことが意識され円売りが強まり、一時136.25まで上昇し、136.23レベルでNYオープン。朝方は一旦136.33まで上昇するものの、5月シカゴ連銀全米活動指数が予想を下回り、135.92まで反落する。その後は米5月中古住宅販売件数が予想範囲内の結果であったことからこの結果を受けたドル円の反応は限定的となるが、米株式市場が大幅に上昇する中ドル円は下値をサポートされ、バーキン・リッチモンド連銀総裁の「来月のFOMCでの50～75bpの利上げは妥当である」との発言にも市場の反応は薄く、136.20付近での推移が続く。その後は翌日のパウエル議長の半期金融政策報告に関する上院銀行委員会での証言を控え、米金利が上昇する動きにドル買いが優勢となり、一時136.71まで上伸し、136.69レベルでクローズした。一方、ユーロドルはアジア、欧州市場での株高を受けてユーロ円の買いに海外市場で1.0582までサポートされ、1.0550レベルでNYオープン。朝方は比較的狭いレンジでの推移が暫く続くが、正午頃から翌日のパウエル議長の議会証言を控え調整からかドルが買われる展開に、ユーロドルは上値を重くし、1.0519まで下落し、1.0535レベルでクローズした。

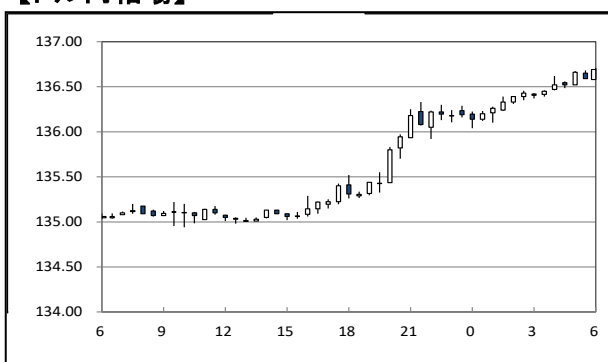
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月21日	09:00	豪 口ウ豪中銀総裁 講演		「さらなる金利上昇に国民は備える必要」
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	5月 0.01	0.47
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 5.40m	5.41m
6月22日	04:30	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演		「次回会合での50-75bp利上げは妥当」

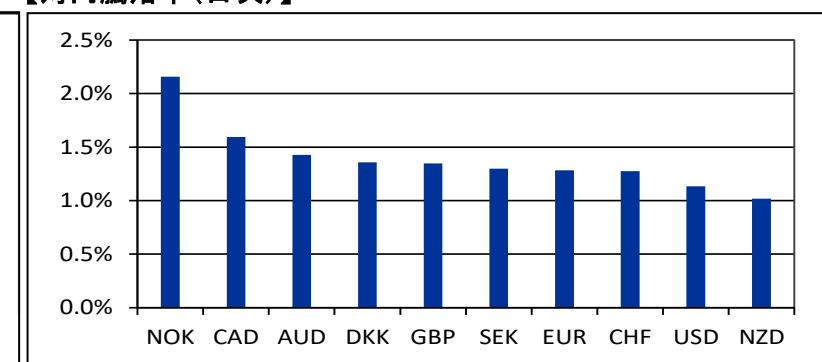
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月22日	08:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨(4/27-28分)	-	-
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.7%/9.1%	2.5%/9.0%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	5月 6.0%	6.2%
	17:40	英 カンリフBOE副総裁 講演	-	-
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	6月 -20.5	-21.1
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
6月23日	01:50	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	02:30	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.20-136.80	1.0470-1.0640	142.20-144.20

【マーケット・インプレッション】

前日のドル円は135円付近の狭いレンジで推移した後、海外時間で一時136.71まで上伸。135.11レベルでオープン後、材料不足から方向感なく推移した後、連休明けのNY勢参加後は日米金融政策の違いを意識した円売り圧力から136.33まで上昇。米経済指標の結果が予想を下回ったことで一時反落するも、米長期金利上昇にドル買い優勢となり、136.69レベルでクローズ。本日のドル円は軟調推移を予想する。1998年10月以来の高値圏まで急伸したことで、利益確定の売りが優勢となるだろう。またパウエルFRB議長の議会証言を控えており、6/16に「75bp利上げが普通になるとは想定しない」とのハト派寄りの発言があったことを踏まえ、現行の金融引き締めペースに関する弱気な発言があれば、更なるドル売りのサポート材料となるシナリオも想定しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・上遠野